

(別紙)

令和6年度(令和5年度からの繰越分)障害福祉分野のロボット等導入支援事業 (施設等に対する導入支援分) 事業報告書

※導入機器ごとの効果や目的等を把握するため、導入機器ごとにそれぞれ作成をしてください。(一体的に利用している機器を除く)

自治体名 埼玉県

【基本情報】

| | |
|---|------------------------------|
| フリガナ | シャカイフクホウシンサイタマケンシャカイフクシキョウダン |
| 法人名 | 社会福祉法人埼玉県社会福祉事業団 |
| フリガナ | ソウカコウセイエン |
| 事業所名 | そうか光生園 |
| 施設・事業所種別(指定を複数受けている場合は、補助上限額を適用する施設・事業所を選択) | |
| 障害者支援施設 | |
| 職員数(常勤換算数)【「従事者の1ヶ月の勤務時間」/「事業所等が定めている、常勤の従事者が勤務すべき1週間の時間数 × 4(週)」にて算出(産休・育休、休職は除く)】 | |
| 37.1 人 | |

(1)主な導入機器内容(種別・機器名等)

- 機器の種類: 移乗介護 排泄支援 入浴支援
 移動支援 見守り・コミュニケーション

機器名(導入台数): 移乗サポートロボットHugT1 1台

(2)ロボット機器等導入前の定量的指標及びロボット機器等導入後の定量的指標

① ロボット機器等導入前の業務時間内訳

| 業務内容 | A.業務従事者数 | 発生件数 | | D.1件当たりの平均処理時間(分) | 人時間 E(A×C×D) | 1人あたり業務時間 (C×D/A) | |
|------|---------------------|----------|----------------|-------------------|-----------------|----------------------|---------|
| | | B.ひと月当たり | C.年間発生件数(B×12) | | | | |
| 直接介護 | 1 移動・移乗・体位変換 | 12 人 | 750 件 | 9,000 件 | 15 分 | 27,000 人時間 | 188 時間 |
| | 2 排泄介助・支援 | | | 0 件 | | 0 人時間 | #DIV/0! |
| | 3 生活自立支援(※1) | | | 0 件 | | 0 人時間 | #DIV/0! |
| | 4 行動上の問題への対応(※2) | | | 0 件 | | 0 人時間 | #DIV/0! |
| | 5 その他の直接介護 | | | 0 件 | | 0 人時間 | #DIV/0! |
| 間接業務 | 6 巡回・移動 | | | 0 件 | | 0 人時間 | #DIV/0! |
| | 7 記録・文書作成・連絡調整等(※3) | | | 0 件 | | 0 人時間 | #DIV/0! |
| | 8 見守り機器の使用・確認 | | | 0 件 | | 0 人時間 | #DIV/0! |
| | 9 その他の間接業務 | | | 0 件 | | 0 人時間 | #DIV/0! |
| | | | 750 件 | 9,000 件 | 15 分 | 27,000 人時間 | #DIV/0! |

※1 入眠起床支援、利用者とのコミュニケーション、訴えの把握、日常生活の支援

※2 徘徊、不潔行為、昼夜逆転等に対する対応等

※3 利用者に関する記録等の作成、勤務票等の作成、申し送り、文書検索等

以下の※1及び※2については、ロボット機器等導入前の実際の業務状況に即した算出をお願いします。

<※1>B.ひと月当たり発生件数の算出方法

移乗介護の必要な入所利用者数50名 一日6回の移乗が必要
50名×6回×30日=9,000件を12人で行うため、一人当たりひと月当たり750件 (ベッド⇄車いす)

<※2>D.1件当たりの平均処理時間の算出方法

移乗用リフターの準備・使用や2名での直接移乗などに係る時間数の平均時間15分

② ロボット機器等導入後の業務時間内訳

| 業務内容 | A.業務従事者数 | 発生件数 | | D.1件当たりの平均処理時間(分) | 人時間 E(A×C×D) | 1人あたり業務時間 (C×D/A) | |
|------|---------------------|----------|----------------|-------------------|-----------------|----------------------|---------|
| | | B.ひと月当たり | C.年間発生件数(B×12) | | | | |
| 直接介護 | 1 移動・移乗・体位変換 | 12.0 人 | 750 件 | 9,000 件 | 14 分 | 25,200 人時間 | 175 時間 |
| | 2 排泄介助・支援 | | | 0 件 | | 0 人時間 | #DIV/0! |
| | 3 生活自立支援(※1) | | | 0 件 | | 0 人時間 | #DIV/0! |
| | 4 行動上の問題への対応(※2) | | | 0 件 | | 0 人時間 | #DIV/0! |
| | 5 その他の直接介護 | | | 0 件 | | 0 人時間 | #DIV/0! |
| 間接業務 | 6 巡回・移動 | | | 0 件 | | 0 人時間 | #DIV/0! |
| | 7 記録・文書作成・連絡調整等(※3) | | | 0 件 | | 0 人時間 | #DIV/0! |
| | 8 見守り機器の使用・確認 | | | 0 件 | | 0 人時間 | #DIV/0! |
| | 9 その他の間接業務 | | | 0 件 | | 0 人時間 | #DIV/0! |
| | | | 750 件 | 9,000 件 | 14 分 | 25,200 人時間 | #DIV/0! |

以下の※3及び※4については、ロボット機器等導入後の実際の業務状況に即した算出をお願いします。

<※3>B.ひと月当たり発生件数の算出方法

移乗介護の必要な入所利用者数50名
一日6回の移乗が必要 50名×6回×30日=9,000件を12人で行うため、一人当たりひと月当たり750件 (ベッド⇄車いす)

<※4>D.1件当たりの平均処理時間の算出方法

移乗用リフターの準備・使用や2名での直接移乗などに係る時間数の平均時間14分

年間業務時間数想定削減率(%)

6.7%

(3)削減率が20%を超える場合は、その要因について記載すること。

| |
|--|
| |
|--|

(4)ロボット機器等の導入により得られた効果

移乗介護にかかる時間が減ったため職員の負担、利用者の負担の軽減となった。また利用者本人の残存の握力や脚力を使用する移乗サポートロボットのため、残存の身体機能の維持を図ることができている。

(5)今後の課題

利用できる利用者が限られるため、効果が限定的となる。また機器の保管場所が廊下のため、通行に不便があり、最適な保管場所の選定が必要。理学療法士と調整し、使用可能な利用者を的確に把握し、使用の拡充を図りたい。

(6)気づき等について

身体機能として利用が可能かどうかと同様に利用者の希望や意思、自尊心が尊重される必要があるため、導入に際しての本人への説明や他の利用者への説明もとても大切であった。

(7)費用面での効果(ロボット機器等の導入による費用の削減の有無を必ず選択すること。)

| | |
|--------------------|---|
| ロボット機器等の導入による費用の削減 | 無 |
|--------------------|---|

ロボット機器等の導入による費用の削減が「有」の場合、以下を回答すること。

| 削減額(円/月) | |
|------------------------|--|
| 職員の賃上げ等への充当 | |
| その他職場環境の改善への充当(※1) | |
| サービスの質の向上に係る取組への充当(※2) | |

(※1)その他職場環境の改善の具体的な内容について記載すること。

| |
|--|
| |
|--|

(※2)サービスの質の向上に係る取組の具体的な内容について記載すること。

| |
|--|
| |
|--|